

解題

今春、日本学術振興会の招きで来日されたジェラルド・フェレルロ氏は、5月10日から25日までの滞在期間中に、東京、福岡、京都で計6回の講演とセミナーを行われた。ここに掲載する「パスカルにおける人間学と政治学」と題するテキストは、5月14日午後5時より、東京大学文学部法文1号館314教室で行われた講演の草稿に、講演者自身が若干の加筆訂正を施されたものである。

フェレルロ氏は、ジャン・メナール、フィリップ・セリエの両教授の衣鉢を継ぐ、パスカル研究の権威であり、1997年には、セリエ教授の後任としてパリ・ソルボンヌ大学教授に就任した。主著として、*Pascal et la raison du politique* (PUF, 1984)、*Les Reines du monde. L'imagination et la coutume chez Pascal* (Champion, 1995)がある。いずれも、深い哲学的思索が輝かしい文章表現に結実した研究として高い評価を得ている。特に後者はパスカルの想像力観とそれが彼の思想において果たした役割を分析することを通じて、彼の人間学と政治学の関係に新たな照明を当てた作品であり、今回の講演とも深いつながりがある。しかし教授の研究領域は、パスカルにとどまらず、モリエールやコルネイユのような古典劇作家、ボシュエのような雄弁家、詩人ラ・フォンテーヌ、そしてテーマとしては、17世紀における歴史認識と歴史叙述、政治及び宗教とレトリックの関係といった、近世フランスの言語文化の意味と価値の問題に広がり、そのいずれにおいても注目すべき成果を挙げている。また、パスカルの著作の注釈にも優れた手腕を発揮し、『プロヴァンシアル』については、ルイ・コニエの編纂したガルニエ古典叢書版を改訂し (Bordas, 1992)、『パンセ』については、セリエ版に依拠する新版(« Le Livre de poche classique », 2000)を出版した。この『パンセ』はポケット版ながら、透徹した解説と勘所を押さえた注、さらに充実した書誌によって、20世紀の代表的な版であったブランシュヴィックの小型版(*Pensées et opuscules*, édition de L. Brunshvicg, Hachette, 1897)にも匹敵する地位を獲得することが期待される。

個人的思い出に渡るが、フェレルロ氏自身、前置きで述べておられるように、1970年代はじめ、氏と筆者はともにパリのエコール・ノルマル・スーパーリユールに寄宿し、ジャン・メナール教授のセミナーで席を並べ、教授の

指導を受けてパスカルについての博士論文を準備した仲である。また同氏は、1988年9月に開催された東京大学主催の国際シンポジウム「パスカル、ポール・ロワヤル、東洋、西洋」に参加するために来日し、分科会の司会を務めたほか、研究発表のすべてについて詳細で明快な報告を執筆して、シンポジウムの完成に華を添えられた（« Pascal au Japon : le dialogue Orient-Occident », *Courrier du Centre International Blaise Pascal*, 10 / 1988）。さらに1997年、パリ・ソルボンヌ大学に着任してからは、本フランス文学研究室の学生をはじめとして、何人もの日本人学生の研究指導を引き受けられている。そのようなフェレル教授を、メナール、セリエ両教授に引き続いて、東京大学文学部にお招きし、セミナー、講演会、そして若手研究者との交流会を通じて、フランス文学研究室の研究と教育にお力添えをいただけたのは、ありがたくまた心強いことであった。

本講演の主題は、こちらから提案してお願いしたものである。パスカルといえば、ともすると宗教家、モラリストそして科学者としての側面にのみ関心が集中する嫌いがあるが、彼は人間とその共同体のあり方についても独自の考察を展開した思想家でもある。しかも「人間学と政治学」というテーマは、フェレル教授が、教授資格審査のために提出された業績の全体のタイトルであり、さらに最初の博士論文のテーマは、パスカルにおける「政治の根拠」であった。つまりこのテキストには、現在のパスカル研究においてもっともホットなテーマに関わるフェレル教授のこれまでの仕事が凝縮されているのである。

最後に老婆心ながら、タイトルの意味について一言。Anthropologie と Politique は、既成の学問分野（「人間学」、「人類学」、「政治学」）を指示するのではなく、人間(anthropos)とその共同体——その典型が政治体(polis, civitas, cité)である——についての考察とディスクールという広くまた根源的な意味で用いられている。

塩川 徹也